

# 【令和2年度（案）】

## 令和2年度（2020年度） 公共事業施工地区（公共事業再評価地区）一覧表

上段：当初計画又は直近評価  
下段：再評価（当該年度〇月末現在）

(様式1)

整理番号	所管部	事業種別	調書番号	(ふりがな)地区名	市町村名	事業経過			前回評価年度	主な工種	総事業費(百万円)	事業費(百万円)				再評価対象区分
						事業採択	着手	完了予定				当該年度事業費	左記のうち道費	累計事業費	進捗率(%)	
1											-	-	-	-		
2											-	-	-	-		
3											-	-	-	-		
4											-	-	-	-		
5											-	-	-	-		
6											-	-	-	-		
7											-	-	-	-		
8											-	-	-	-		
9											-	-	-	-		
10											-	-	-	-		

※「事業経過」の「着手」欄について、建設部所管事業にあっては「着工」と読み替えてください。

※「事業経過」欄の各年度は、上段に和暦（昭和はS、平成はH、令和はR）、下段にカッコ書きの西暦を半角数字で記入してください。

※「前回評価年度」欄には、前回の事前評価又は再評価の実施方針の年度を「事業経過」欄と同様に記入し、いずれも実施していない場合は「-」を記入してください。

※「再評価対象区分」欄には、実施方針の3(1)の場合に半角「1-#」（#はア～オ又は(1)のうち該当する項目）、同(2)の場合に半角数字「2」、同(3)の場合に半角数字「3」を記入してください。（該当するものを全てを記入してください。）

# 【令和元年度】

上段：当初計画又は直近評価  
下段：再評価（R1.〇月末現在）

## 令和元年度 公共事業施工地区（公共事業再評価地区）一覧表

（様式1）

整理番号	所管部	事業種別	調査番号	(ふりがな) 地区名	市町村名	事業経過				主な工種	総事業費 (百万円)	事業費(百万円)				再評価 対象区 分
						事業 採択	着工 年度	完了 予定	経過 年数			R1年度 事業費	左記のうち道費	累計事業費	進捗率(%)	
1											-	-	-			
2											-	-	-			
3											-	-	-			
4											-	-	-			
5											-	-	-			
6											-	-	-			
7											-	-	-			
8											-	-	-			
9											-	-	-			
10											-	-	-			

※「評価対象区分」欄には、半角数字「1」（国の要件等に該当）、半角数字「2」（大幅な変更が発生）、半角数字「3」（その他必要）を記入してください。

※「事業経過」欄における年度の記入は暦年とし、半角数字（各年度には、昭和はS、平成はH、令和はR）を記入してください。

# 【令和2年度（案）】

## 令和2年度（2020年度） 公共事業施工地区（公共事業再評価地区）一覧表 【記載例】

上段：当初計画又は直近評価  
下段：再評価（当該年度7月末現在）

（様式1）

整理番号	所管部	事業種別	調書番号	(ふりがな)地区名	市町村名	事業経過			前回評価年度	主な工種	総事業費(百万円)	事業費(百万円)				再評価対象区分
						事業採択	着手	完了予定				当該年度事業費	左記のうち道費	累計事業費	進捗率(%)	
1		2回目の再評価（実施方針3の(1)エに該当）のパターン				H22(2010)	H22(2010)	R2(2020)	H27(2015)		1,000	-	-	-	-	1-I
							H22(2010)	R5(2023)			1,050	150	90	750	71%	
2		事前評価を実施し、最初の再評価（実施方針3(1)イと(2)イに該当）のパターン				H27(2015)	H27(2015)	R4(2022)	H25(2013)		5,500	-	-	-	-	1-I 2
							H28(2016)	R8(2026)			9,300	800	320	2,100	23%	
3		事前評価未実施で実施方針3(2)ウに該当のパターン				H29(2017)	H29(2017)	R6(2024)	-		900	-	-	-	-	2
							H29(2017)	R8(2026)			2,000	50	12	700	35%	
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																

※「事業経過」の「着手」欄について、建設部所管事業にあっては「着工」と読み替えてください。

※「事業経過」欄の各年度は、上段に和暦（昭和はS、平成はH、令和はR）、下段にカッコ書きの西暦を半角数字で記入してください。

※「前回評価年度」欄には、前回の事前評価又は再評価の実施方針の年度を「事業経過」欄と同様に記入し、いずれも実施していない場合は「-」を記入してください。

※「再評価対象区分」欄には、実施方針の3(1)の場合に半角「1-#」（#はア～オ又は(1)のうち該当する項目）、同(2)の場合に半角数字「2」、同(3)の場合に半角数字「3」を記入してください。（該当するものを記入してください。）

【令和元年度】

( 追 加 )

# 【令和2年度（案）】

## 令和2年度（2020年度） 公共事業再評価総括表（一次政策評価）

（様式2）

整理番号	所管部	事業種別	調査番号	(ふりがな) 地区名	市町村名	事業採択年度	完了予定年度	総事業費 (百万円)	当該年度 事業費 (百万円)	事業費 累計 (百万円)	進捗率 (%)	評価結果		摘要
												一次政策評価		
												方向性	摘要（変更内容等）	
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														

※「事業採択年度」及び「完了予定年度」の各欄は、上段に和暦（昭和はS、平成はH、令和はR）、下段にカッコ書きの西暦を半角数字で記入してください。

# 【令和元年度】

## 令和元年度公共事業再評価総括表（一次政策評価）

(様式2)

整理番号	所管部	事業種別	調書番号	(ふりがな) 地区名	市町村名	事業着手年度	完了予定年度	総事業費 (百万円)	R1年度 事業費 (百万円)	事業費 累計 (百万円)	進捗率 (%)	評価結果		摘要
												一次政策評価		
												方向性	摘要(変更内容等)	
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														

※各年度の記入は暦年とし、半角数字（昭和はS、平成はH、令和はR）を記入してください。



令和元年度 公共事業再評価調査

基準年月日 令和元年8月1日

調査番号	所管部	作成責任者 担当フルネ	市町村名	市町村	その他
<b>I 基本事項 (基準日時点)</b>					
事業種別	百万円	負担割合	地区名	道	国
事業費					
事業目的・目標			事業概要		(百万円)
	[アウトカム] 等		工事費内訳		
総合計画での位置付け	施策名	総合計画：中項目	総合計画：大項目		
	施策目標	総合計画：小項目	関連する指標		
<b>II 計画変更 (単位：百万円)</b>					
事業期間	事業着手	建設着手	変更年度	完了予定	経過年数
	当初				
	変更①				
	変更②				
変更理由・内容			総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費
					累積事業費(b)
					進捗率(b)/(a)
					#DIV/0!
<b>III 事業着手前の状況</b>					
1.事業着手に至る経過と背景					
2.事業検討の際の手続き (住民-E-1の把握等)					
3.事業が効果を及ぼす地域・対象					
4.関連する事業	事業名	事業主体	事業期間	事業費 (百万円)	事業内容
<b>IV 事業の実施状況</b>					
<b>(1) 事業計画及び実績</b>					
1.進捗状況	施工(工種)区分	工事内容			進捗状況
					事業費 (百万円)
<b>(2) 進捗状況</b>					

a : 概ね予定どおり実施している  
 b : 事業計画(期間)等を変更し実施する。  
 c : 問題が生じ、実施に支障をきたしている



# 【令和2年度（案）】

V 評価	
1. 必要性	<p>a：事業の必要性に変化はなく予定どおりの事業を推進する。 b：着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。</p> <p>c：着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。</p>
2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題
3. 事業達成の見込み	(2) 事業推進に対する住民の動向
4. 対応方針	(3) その他の課題
VI 備考	<p>a：現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。</p> <p>b：課題はあるものの達成は可能である。</p> <p>c：大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。</p>
	<p>a：継続 b：終了 c：休止 d：中止</p> <p>事業期間の変更の有無 事業費の変更の有無 事業内容変更の有無 目的・規模等に係る変更 左記以外の変更</p>
1. 評価履歴	
2. その他の取組事項	

## 補足資料

事業期間 事前評価 又は当初 変更① 変更② 変更③ 変更④ 変更⑤ 変更⑥ 変更⑦ 変更⑧ 変更⑨ 変更⑩	再評価 事業採択 重注	変更年度	完了予定	事業費			(単位：百万円)
				総事業費(a)	適負担額	当該年度事業費 累積事業費(b)	
				経過年数			
				2020			
				#DV/OI			
変更理由・内容							

【令和元年度】

2.事業効果	経済効果の内訳 (百万円)		費用の内訳 (百万円)		B/C	備考
	項目	現在	項目	現在		
					/	
	合計 (B)		合計 (C)			
3.コスト縮減 などの取組	取組の内容					縮減額 (百万円)
<b>V 評価</b>						
1.必要性	<p>a : 事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する    b : 着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である</p> <p>c : 着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある</p>					
	(1) 環境上の配慮及び課題					
	(2) 事業推進に対する住民の動向					
	(3) その他の課題					
3.事業達成の 見込み	<p>a : 現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。</p> <p>b : 課題はあるものの達成は可能である</p> <p>c : 大きな課題があり達成には相当の困難が予想される</p>					
4.対処方針	<p>a : 継続    b : 終了    c : 休止    d : 中止</p>					
	事業期間の変更の有無	事業費の変更の有無	事業内容変更の有無	目的・規模等に係る変更	左記以外の変更	
<b>VI 備考</b>						
1.評価履歴	事前評価： 再評価：	年度実施 年度実施	評価結果： 評価結果：			
2.その他の 取り組み事項						

【令和2年度（案）】

（2枚目に集約）

補足資料

II 計画変更

【令和元年度】

		(単位：百万円)						
事業期間	事業着手 建設着手	変更年度	完了予定	事業費	事業費 (a)		事業費 (b)	
					道負担額	当該年度事業費	累積事業費 (b)	進捗率 (b)/(a)
当初								
変更①								
変更②								
変更③								
変更④								#DIV/0!
変更理由・内容								

# 【令和2年度(案)】

(様式3)

## 令和2年度(2020年度)公共事業再評価調査【記載例】

調書番号	00-00	所管部	00部	基礎年月日	令和2年8月1日																																																																																				
基本事項(基準日時点)	作成責任者		00部00局00課長 道庁 太郎																																																																																						
事業種別	0000事業費(00事業)	地区名	000	市町村名	00市・00町																																																																																				
事業費	39,905 百万円	道	33%	市町村	その他																																																																																				
		負担割合	26,603 百万円		百万円																																																																																				
事業目的・目標	<p>●〇〇川は、太平洋に注ぐ一級河川で、S62年(1987年)9月の洪水(1994年)12月、H7年(1995年)2月の高潮により、家屋浸水など多大な被害が発生した。このため、H8年(1996年)より〇〇川の河川改修事業に着手。</p> <p>●その後H26年(2014年)9月の洪水により支川の〇〇川において洪水被害が発生したため、〇〇川の改修に着手。</p> <p>●堤防の新設や河道の規制による河川の氾濫防止、〇〇川口地区、〇〇町〇〇地区などの市街地及び農地の浸水被害を防止する。</p> <p>[アウトカム] 等</p> <p>●改修の目標とする規模の降雨により浸水するおそれのある家屋数 5,967戸 → 0戸</p> <p>●改修の目標とする規模の降雨により浸水するおそれのある農地面積 5ha → 0ha</p>																																																																																								
総合計画での位置付け	<p>施策名 大規模自然災害対策の推進</p> <p>総合計画：中項目 強靱な北海道づくりとハブアップ機能の発揮</p> <p>施策目標 防災上重要な公共施設の整備</p>																																																																																								
事業採択	<p>事業採択 審査 評価年度 完了予定 総合資料 ※補足資料(経費) ※事業計画変更と整合を図る</p>																																																																																								
事前評価	H8 (1996)	H27 (2015)	H27 (2015)	過年度																																																																																					
前回評価	H11 (1999)	H27 (2015)	H27 (2015)	年度																																																																																					
今回評価	H11 (1999)	R2 (2020)	R27 (2045)	費																																																																																					
変更理由・内容	<p>事業費の変更</p> <p>(1)〇〇川工区の改修事業を追加したため (2)地質調査の結果、樋門の液状化対策の検討が必要となったため (3)資材及び労務単価が上昇したため</p>																																																																																								
事業採択前の状況	<p>● S62年(1987年)9月 洪水被害(洪水)が発生(浸水家屋141戸) ※〇〇川</p> <p>● H6年(1994年)12月 洪水被害(高潮)が発生(浸水家屋3戸) ※〇〇川</p> <p>● H7年(1995年)2月 洪水被害(高潮)が発生(浸水家屋18戸) ※〇〇川</p> <p>● H26年(2014年)9月 洪水被害(洪水)が発生(浸水面積50ha、浸水家屋169戸) ※〇〇川</p> <p>● H7年(1995年) 〇〇川について、〇〇市及び〇〇町より道に河川改修の要望</p> <p>● H8年(1996年) 〇〇川改修事業期成会の結成、〇〇川の改修事業に着手</p> <p>● H25年(2014年) 〇〇川について〇〇町より道に河川改修の要望</p> <p>● H28年(2016年) 〇〇川の改修事業に着手</p> <p>● 〇〇市〇〇町地区、〇〇町〇〇地区など 氾濫防止面積573ha(うち農地5ha)、浸水防止家屋5,967戸 防災拠点施設(〇〇町役場)</p>																																																																																								
1. 事業採択に至る経過と背景	<p>事前評価、又は前回評価の後に変更となった理由・内容を記載 ※補足資料の「I」事業計画変更」と整合を図る</p>																																																																																								
2. 事業採択前の手続(住民への把握等)	<p>事業費の内訳</p> <table border="1"> <tr> <th>事業費(a)</th> <th>道負担額</th> <th>事業費(b)</th> <th>進捗率(b)/a</th> </tr> <tr> <td>31,336</td> <td>10,445</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>31,336</td> <td>10,445</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>39,905</td> <td>13,302</td> <td>872 [316]</td> <td>14.834</td> </tr> </table> <p>37%</p>					事業費(a)	道負担額	事業費(b)	進捗率(b)/a	31,336	10,445			31,336	10,445			39,905	13,302	872 [316]	14.834																																																																				
事業費(a)	道負担額	事業費(b)	進捗率(b)/a																																																																																						
31,336	10,445																																																																																								
31,336	10,445																																																																																								
39,905	13,302	872 [316]	14.834																																																																																						
3. 事業効果を及ぼす地域・対象	<p>事業費の内訳</p> <table border="1"> <tr> <th>事業費(a)</th> <th>道負担額</th> <th>事業費(b)</th> <th>進捗率(b)/a</th> </tr> <tr> <td>31,336</td> <td>10,445</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>31,336</td> <td>10,445</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>39,905</td> <td>13,302</td> <td>872 [316]</td> <td>14.834</td> </tr> </table> <p>37%</p>					事業費(a)	道負担額	事業費(b)	進捗率(b)/a	31,336	10,445			31,336	10,445			39,905	13,302	872 [316]	14.834																																																																				
事業費(a)	道負担額	事業費(b)	進捗率(b)/a																																																																																						
31,336	10,445																																																																																								
31,336	10,445																																																																																								
39,905	13,302	872 [316]	14.834																																																																																						
4. 関連する事業	<p>事業名 事業主体 事業期間 事業費(百万円) 事業内容</p> <p>〇〇市 リバーサイドプロダクト整備事業 〇〇市 H8(1996年)~H25(2013年) 916 公園整備・植樹 A=4ha</p> <p>〇〇市 港湾湾改修事業(東港区) 〇〇市 H6(1994年)~H17(2008年) 5,207 係船護岸改築・航路浚渫 L=855m</p>																																																																																								
事業の実施状況	<p>(1) 事業実績及び今後の計画</p> <table border="1"> <tr> <th>施工(工種)区分</th> <th>工事内容</th> <th>H8~11</th> <th>17</th> <th>25</th> <th>30</th> <th>R1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>27</th> <th>進捗状況</th> <th>事業費(百万円)</th> </tr> <tr> <td>築岸工</td> <td>L=13,855m</td> <td>&lt;</td> <td>&lt;</td> <td>&lt;</td> <td>&lt;</td> <td>5,480h</td> <td>&lt;</td> <td>&lt;</td> <td>&lt;</td> <td>58%</td> <td>3,130</td> </tr> <tr> <td>掘削工</td> <td>L=13,480m</td> <td>&lt;</td> <td>L=241m</td> <td>&lt;</td> <td>&lt;</td> <td>7,659h</td> <td>&lt;</td> <td>&lt;</td> <td>&lt;</td> <td>7%</td> <td>8,865</td> </tr> <tr> <td>護岸工</td> <td>L=17,116m</td> <td>&lt;</td> <td>&lt;</td> <td>&lt;</td> <td>&lt;</td> <td>4,798h</td> <td>&lt;</td> <td>12,319h</td> <td>&lt;</td> <td>18%</td> <td>8,116</td> </tr> <tr> <td>附属工事</td> <td>道路幅N=2橋、JR橋N=1橋</td> <td>&lt;</td> <td>&lt;</td> <td>&lt;</td> <td>&lt;</td> <td>&lt;</td> <td>&lt;</td> <td>&lt;</td> <td>&lt;</td> <td>36%</td> <td>11,211</td> </tr> <tr> <td>測量設計費</td> <td>調査・設計</td> <td>&lt;</td> <td>&lt;</td> <td>&lt;</td> <td>&lt;</td> <td>&lt;</td> <td>&lt;</td> <td>&lt;</td> <td>&lt;</td> <td>72%</td> <td>3,926</td> </tr> <tr> <td>用地費及補償費</td> <td>用地買収・物件補償</td> <td>&lt;</td> <td>&lt;</td> <td>&lt;</td> <td>&lt;</td> <td>&lt;</td> <td>&lt;</td> <td>&lt;</td> <td>&lt;</td> <td>87%</td> <td>4,657</td> </tr> </table> <p>(2) 進捗状況</p> <p>〇〇川下流0.5km区間の整備が完了しているほか、〇〇川の中流1.6km区間の暫定整備が完了。事業計画(地区の追加)の変更しているが、今後の実施に当たっては、特に大きな支障となるものはない。</p>					施工(工種)区分	工事内容	H8~11	17	25	30	R1	2	3	27	進捗状況	事業費(百万円)	築岸工	L=13,855m	<	<	<	<	5,480h	<	<	<	58%	3,130	掘削工	L=13,480m	<	L=241m	<	<	7,659h	<	<	<	7%	8,865	護岸工	L=17,116m	<	<	<	<	4,798h	<	12,319h	<	18%	8,116	附属工事	道路幅N=2橋、JR橋N=1橋	<	<	<	<	<	<	<	<	36%	11,211	測量設計費	調査・設計	<	<	<	<	<	<	<	<	72%	3,926	用地費及補償費	用地買収・物件補償	<	<	<	<	<	<	<	<	87%	4,657
施工(工種)区分	工事内容	H8~11	17	25	30	R1	2	3	27	進捗状況	事業費(百万円)																																																																														
築岸工	L=13,855m	<	<	<	<	5,480h	<	<	<	58%	3,130																																																																														
掘削工	L=13,480m	<	L=241m	<	<	7,659h	<	<	<	7%	8,865																																																																														
護岸工	L=17,116m	<	<	<	<	4,798h	<	12,319h	<	18%	8,116																																																																														
附属工事	道路幅N=2橋、JR橋N=1橋	<	<	<	<	<	<	<	<	36%	11,211																																																																														
測量設計費	調査・設計	<	<	<	<	<	<	<	<	72%	3,926																																																																														
用地費及補償費	用地買収・物件補償	<	<	<	<	<	<	<	<	87%	4,657																																																																														
1. 進捗状況	<p>工公共事業評価経過を踏まえて記載 ※前回から事業期間や事業費を変更したものは「b」</p>																																																																																								
2. 事業効果	<p>経済効果の内訳(百万円)</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>R2現在</th> <th>R2現在</th> <th>B/C</th> </tr> <tr> <td>洪水被害防止効果</td> <td>71,715</td> <td>建設費 39,852</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>維持管理費 38</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計(B)</td> <td>71,715</td> <td>合計(C)</td> <td>1.80</td> </tr> </table> <p>前回再評価年度 : H27年度(2015年度)</p> <p>前回再評価時B/C : 1.12</p> <p>変更理由 : 〇〇川工区の改修事業の追加、地質調査の結果、樋門の液状化対策の検討が必要</p>					項目	R2現在	R2現在	B/C	洪水被害防止効果	71,715	建設費 39,852				維持管理費 38		合計(B)	71,715	合計(C)	1.80																																																																				
項目	R2現在	R2現在	B/C																																																																																						
洪水被害防止効果	71,715	建設費 39,852																																																																																							
		維持管理費 38																																																																																							
合計(B)	71,715	合計(C)	1.80																																																																																						
3. コスト削減などの取組	<p>取組の項目 取組内容 縮減額(百万円)</p> <p>計画・設計の最適化 堤防護岸工法の見直しによる縮減 70</p> <p>施工の最適化 工事で発生するコンクリートはかご工の申請材に再利用 4</p>																																																																																								

記載例

令和元年度 公共事業再評価調査

(様式3)

調査番号	00-00	所管部	〇〇部	作成責任者	〇〇部〇〇高〇〇課長 道行 太郎	基準年月日	令和元年8月1日
I 基本事項(基準日時点)	〇〇〇〇	事業費	5,000	担当	〇〇G(内)12-345		

事業種別	〇〇〇〇	事業費	5,000	地区名	〇〇地区	市町村名	〇〇口市
事業費	5,000	負担割合	50%	道	25%	市町村	100%
			250万円		125万円		250万円

**事業概要**  
 ●合併に伴う地域交種策として、〇地区と〇地区の交通不能区画を解消し、移動時間〇〇分の短縮を行い地域連携の強化や緊急医療・避難に対応する。  
 ●S60からの浸水被害が頻発し地域経済や農業生産に多大な被害が発生。堤防建設により浸水被害を防止。  
 ●土壌不固による排水不良により生産性・作業効率や低く品質格差が発生。農地機能改善、品質格差の解消、経営安定化のための区画整理と土壌改良を実施  
 (アウトカム)等  
 ●事業実施前(H00)の抱い手農地利用集積率(受益面積のうち抱い手が耕作する面積の割合)は、〇〇%だが、農家戸数の減少に伴い、このまま基盤整備を行わない場合は、H00年に〇〇%まで低下すると推定される。  
 しかし、本事業を実施することにより事業実施翌年(H00)に〇〇%の高水準を維持することが可能となる。  
 ●改修の目標とする規模の降雨により浸水するおそれのある家屋数 〇〇戸→〇戸  
 ※可能な限り数値化し、事業効果を容易に確認できるようわかりやすく記載すること。

**事業概要**  
 ●〇〇橋は〇〇と〇〇とを結び延長〇〇kmの路線で、〇〇の役割(機能)を担う重要な路線である。この内本地区は、〇〇から△△に至る区間であり、拡力一フ2箇所の改良、老朽化した〇〇橋の6mから8、5mへの幅幅を伴う架換えを行うものである。  
 (現況)延長L=2km、幅員W=0.5+5.0+0.5m、最急勾配8%  
 (計画)延長L=1.2km幅員W=1.25+6.0+1.25m、最急勾配5%  
 築堤工 頭普工 3基  
 区画整理 土層改良 3ha  
 林道開設事業 L=0.5km  
 道路改良工 L=1.2km 橋梁工 1基  
 測量設計費  
 用地及び補償費 3件、500㎡

地区名	〇〇地区	市町村名	〇〇口市
道	25%	市町村	100%
その他	5%		25%

**事業目的・目標**  
 ●事業実施前(H00)の抱い手農地利用集積率(受益面積のうち抱い手が耕作する面積の割合)は、〇〇%だが、農家戸数の減少に伴い、このまま基盤整備を行わない場合は、H00年に〇〇%まで低下すると推定される。  
 しかし、本事業を実施することにより事業実施翌年(H00)に〇〇%の高水準を維持することが可能となる。  
 ●改修の目標とする規模の降雨により浸水するおそれのある家屋数 〇〇戸→〇戸  
 ※可能な限り数値化し、事業効果を容易に確認できるようわかりやすく記載すること。

総合計画で の位置付け	総合計画：中項目 大規模自然災害対策の推進	総合計画：小項目 大規模自然災害に対する北海道自らの脆弱性の克服、〇〇河川は修めが必要な区画に対する一定の降雨による浸水被害を防止できる区画の割合% 基準値43.3% - 取組目標値45.1%
----------------	--------------------------	---

事業手続	事業手続	事業手続	事業手続	事業手続	事業手続	事業手続	事業手続
当 初	H16	H17	H18	H19	R1	R2	R3
変 更 ①			H21	H22	R1	R2	R3
変 更 ②			H27	H28	R1	R2	R3

事業手続	経過年数	経過年数	経過年数	経過年数
当 初	H16	H17	H18	H19
変 更 ①			H21	H22
変 更 ②			H27	H28

当年度事業費	75	累計事業費(b)	300	進捗率(a)/(b)	
	100		400		
	125		500		
	50 [200]		300		60%

**変更理由・内容**  
 変更①：H17年の集中豪雨により現河川堤防が決壊。流下能力増加のため、河道掘削を追加。  
 変更②：直轄権排水事業計画の変更にもとまひ、区画割を見直すとともに、新たな区画整理を

III 事業着手前の状況

- 事業着手に至る経過と背景**  
 ● 〇〇年〇〇月 浸水被害が発生(床上浸水〇〇戸、床下浸水〇〇戸、農地被害〇〇ha、被害合計〇〇億円)  
 ● 〇〇年〇〇月 小雨により〇〇川からの取水が不能。水道給水が〇〇日ストップ  
 ● 〇〇年〇〇月 号台風により〇〇地区の道路通行が不能(〇〇日間、影響人員〇〇人、経済損失〇〇億円)  
 ● 〇〇年〇〇月 用排水路の老朽化により用水が不足し、農畜被害が発生  
 ● 〇〇年〇〇月 高齢化による離農跡地分散所有の非効率解消のため区画整理が必要となる。  
 ● 〇〇年〇〇月 幅員狭小や段面粘化により作物輸送中の品質劣化が頻発
- 事業検討の際の手続**  
 (住民への説明等)  
 ● 〇〇年〇〇月 〇〇法に基づく指針、〇〇に関する認定、〇〇法に基づく公告・縦覧  
 ● 〇〇年〇〇月 〇〇地区整備促進期成会の結成、道に〇〇地区の整備要望  
 ● 〇〇年〇〇月 地元住民への説明会の開催、関係受益者の同意書及び〇〇市の意見書提出  
 ● 〇〇年〇〇月 関連事業者連絡会議を設置  
 ● 〇〇年〇〇月 環境アセスメントの実施  
 ● 〇〇年〇〇月 〇〇事業着手
- 事業が効果を及ぼす地域・対象**  
 ● 〇〇地区と緊急医療施設(口病院)間の移動時間を短縮し緊急医療を支援、〇〇地震発生時の緊急避難路の確保  
 ● 〇〇地区と〇〇地区間の冬季通行不能区画解消、〇〇地区観光の支援  
 ● 〇〇地区の中心市街地及び周辺農地 水害防止面積〇〇ha、浸水防止戸数 〇〇〇戸  
 ● 〇〇市の水道用水の供給 給水人口〇〇〇〇人 〇〇〇m<sup>3</sup>/日 流水の正常な機能維持、不特定容量の確保  
 ● 〇〇市受益面積〇〇ha 受益戸数〇〇〇〇人  
 ● 〇〇海岸 防護区画 〇〇〇〇ha 防護面積 〇〇〇〇ha 防護戸数 〇〇〇〇戸  
 ● 〇〇市の森林所有者及び周辺の林業事業者  
 ● 〇〇地区森林の水源涵養、工砂流失防止等の公益的な機能の確保

事業名	事業主体	事業期間	事業費(百万円)	事業内容
直轄治山事業	〇〇地区	HO~HOO	25,000万円	〇〇地区の土石流防止事業
〇〇市〇〇開発事業	〇〇市	HO~HOO	2000万円	〇〇地区中心市街地活性化事業

IV 事業の実施状況

施工(工種)区分	工事情況				工事内容							
	16	17	18	19	28	29	30	元	2	3	4	
〇〇工事				L=Om W=Om				L=Om	L=Om	L=Om	L=Om	L=Om
〇〇工				〇箇所				N=〇箇所	N=〇箇所	N=〇箇所	N=〇箇所	N=〇箇所
〇〇工				〇基				N=〇基	N=〇基	N=〇基	N=〇基	N=〇基
〇〇橋梁				橋長〇〇〇m				L=Om	L=Om	L=Om	L=Om	L=Om
付け替え道路				L=Om W=Om				N=〇箇所	N=〇箇所	N=〇箇所	N=〇箇所	N=〇箇所
測量設計費												
用地補償費								N=〇坪	N=〇坪	N=〇坪	N=〇坪	N=〇坪

1.進捗状況												

用地補償に伴う相続手続に時間を要しているため、事業期間の変更を行った。  
 〇〇の計画変更に伴い事業計画の変更区画が発生。変更に影響のない箇所の工事を実施中。

- a : 概ね予定どおり実施している
- b : 事業計画(期間)等を変更し実施する。
- c : 問題が生じ、実施に支障をきたしている

# 【令和2年度(案)】

V. 評価	1. 必要性	<p>●本事業は、〇〇市〇〇地区、〇〇町〇〇地区などの市街地及び農地の浸水被害を防止するためのもの。</p> <p>●事業着手後もH18年(2006年)10月(浸水面積2ha)、H19年(2007年)1月(浸水面積2ha)、H25年(2013年)9月(浸水面積5.0ha、家庭169戸)に浸水被害が発生</p> <p>●事業の必要性に変化はなく、着実に事業の推進を図る必要がある。</p> <p>a: 事業の必要性に変化はなく予定どおりの事業を推進する。 b: 着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。</p> <p>c: 着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。</p>												
	2. 事業を推進する上での課題	<p>(1) 環境上の配慮及び課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● JR橋上流にある河道内干潟を極力保全するよう河道法線や築堤法線の設定をしている。</li> <li>● 親水性を向上させるため、河川敷地に茶裕のある箇所は堤防法面を緩傾斜にする。</li> <li>● 市街地中心を流れる河川であり、活力ある水辺空間を創出するため、散策路の整備を行う。</li> <li>● 魚類などに配慮し、現況河床を極力保全している。(〇〇川)</li> </ul> <p>※直近の評価以降の状況変化はない。</p> <p>(2) 事業推進に対する住民の動向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 〇〇川及び〇〇町から事業の早期完成に向けて毎年度要望が出されている。</li> </ul> <p>(3) その他の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 特になし</li> </ul>												
	3. 事業達成の見込み	<p>事業期間が長期に及ぶものの、現状では事業進捗に大きな支障となるものではなく、事業は順調に進捗していく見込みである。</p> <p>a: 現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。</p> <p>b: 課題はあるものの達成は可能である。</p> <p>c: 大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。</p>												
	4. 対応方針	<p>事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けているため、令和27年度の完成を目指し、事業継続する。</p> <p>a: 継続 b: 終了 c: 休止 d: 中止</p>												
VI. 備考		<table border="1"> <tr> <th>事業期間の変更の有無</th> <th>無</th> <th>有</th> <th>事業内容変更の有無</th> <th>有</th> <th>左記以外の変更</th> </tr> <tr> <td>事業期間の変更の有無</td> <td>無</td> <td>有</td> <td>事業内容変更の有無</td> <td>有</td> <td>無</td> </tr> </table>	事業期間の変更の有無	無	有	事業内容変更の有無	有	左記以外の変更	事業期間の変更の有無	無	有	事業内容変更の有無	有	無
事業期間の変更の有無	無	有	事業内容変更の有無	有	左記以外の変更									
事業期間の変更の有無	無	有	事業内容変更の有無	有	無									
	1. 評価履歴	<p>事前評価: 平成26年度実施 評価結果: 要望を行うことは妥当 B/C=5.95 (※〇〇川)</p> <p>再評価: 平成27年度実施 評価結果: 継続 (変更なし)</p>												
	2. その他の取組事項	<p>「〇〇について変更があった場合には専門委員会に報告すること。」とする付帯意見1件を専門委員会からいただいた。知事評価においても同様の趣旨の意見を付された。</p> <p>● 特になし</p>												

## 補足資料

再評価		事業要訳		進捗率(B)/(a)	
事業期間又は当初	事業要訳	変更年度	完了予定	総事業費(a)	進捗率(B)/(a)
H8(1996)	H8	H27(2015)	H27(2015)	31,336	10.445
変更① 1回目	H11(1999)	H22(2010)	H37(2025)	31,336	10.445
変更② 2回目	H11(1999)	H27(2015)	H57(2045)	31,336	10.445
変更③	H11(1999)	H28(2016)	H57(2045)	36,136	12.045
変更④ 3回目	H11(1999)	R2(2020)	R27(2045)	39,905	13.302
変更⑤				873	14.834
変更⑥					37%
変更⑦					
変更⑧					
変更⑨					
変更⑩					

前年度補正予算の繰り越し、当年度執行分がある場合は、繰り越し分も含めて記載

事業期間の延伸  
係船護岸の施工に当たり、工事箇所に係留中の船舶の係留場所が十分確保されないほか、今後予定している掘削工(浚渫)に当たっても、浚渫工に含まれる重金属に係る対策が必要となり加えて、これらの施工に当たり、不発弾の調査も要し、慎重に対応する必要があることから、単年度の施工可能量に著しく制約を受けるため、事業期間を変更

変更②: 事業期間の延伸  
用地交渉に時間を要したほか、残事業の施工期間を精査したことによる事業期間の変更

変更③: 事業費の変更  
〇〇川工区の改修事業を追加したため

変更④: 事業費の変更  
地質調査の結果、樋門の液状化対策の検討が必要になったこと、資材及び労務単価の上昇のため

変更理由・内容

事前評価又は前回評価から今回の評価までに生じた理由・内容のほか、可能な範囲で、過年度の理由・内容を記載

# 【令和元年度】

2.事業効果	経済効果の内訳(百万円)		費用の内訳(百万円)		B/C	備考
	項目	R1現在	項目	R1現在		
	〇〇改善効果	200	事業費	420	R1現在	・「〇〇費用便益マニキュアル(〇〇省H20年)」に基づき算出 ・便益、費用ともに〇元年に現在価値化 ・費用は、現在価値化及び50年間の維持管理費の計上により総事業費と異なる。
	〇〇向上効果	120	維持管理費	60		
	〇〇便益	100				
	〇〇防止効果	300				
	合計(B)	720	合計(C)	480		
	※B/Cに依らない場合や国などの費用便益マニキュアルによる便益以外の効果等がある場合は、必要に応じて記載してください。					1.95
	※B/Cが前回評価時から変更となる場合は、前回評価年度及びB/Cを記載し、変更理由を記載してください。 前回再評価年度 : H26年度 前回再評価時B/C : 2.2 変更理由 : 〇〇を見直したことにより事業費が増加のため					
3.コスト縮減などの取組	取組の項目		取組の内容		縮減額(百万円)	
	資源循環の促進	〇〇再利用によりコストを下げ、かつ産業廃棄物発生を抑制		50百万円		
	代替案の比較	計画構想段階で代替案(〇〇工法)を比較、再評価して最適な工法を採用。		200百万円		
	発注計画の最適化	早期発注及び適切な工期設定を行い、冬季割増し等のコスト増を抑制		20百万円		
	単価等精算の見直し	〇〇資材を標準タイプからロングタイプに見直し、コスト縮減		50百万円		
V 評価	H〇年度に都市計画審議会を開催。人口推計や都市施設整備構想について了承。事業の必要性に変化はなく事業を継続して推進。 ●流域市街地の人口は、〇〇年の〇〇〇人から〇〇年には〇〇〇人にやや減少しているが、世帯数は、〇〇世帯から〇〇世帯とほぼ横ばいで推移している。また、汎濫予想区域内の農地面積は、〇〇年の〇〇haから〇〇年は〇〇haとほぼ横ばいであるが、当該地域における水稲や小麦の生産が盛んであり、近年は出荷額は〇〇(百万円)から〇〇(百万円)と増加傾向にあるなど、当該地域における事業の必要性に変化はない。 ●汎濫予想区域内の建築物は、〇〇年の〇〇棟から〇〇年には〇〇棟とやや減少しているが、近年、福祉施設や保育所が建設されるなど、浸水被害防止の観点から当該事業の必要性に変化はない。 ※ 再評価(H〇〇年)以降、〇〇の環境問題が発生し、〇〇を実施して対処した。 ※ 再評価(H〇〇年)以降、〇〇の要望が新たに生じ、〇〇を実施して対処する予定。(今回の計画変更)に反映)					
	<b>a</b>	a : 事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する b : 着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である c : 着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある				
	(1) 環境上の配慮及び課題	● 〇〇地区に〇〇湖原(国立公園普通地域)が隣接。環境調査と専門家の意見を聴取し事業を実施。 ● えそ〇〇草の生育地域に隣接。外来種の侵入を防ぐため、〇〇工法を採用しており、若干コストが増加。 ※ 再評価(H〇〇年)以降、〇〇の状況変化はない。 ※ 再評価(H〇〇年)以降、〇〇の要望が新たに生じ、〇〇を実施して対処する予定。(今回の計画変更)に反映)				
	(2) 事業推進に対する住民の動向	● 事業着手以降毎年、〇〇地区開発期成会を通じて整備促進の要望が行われている。 ● 〇〇の住民説明会で提案された〇〇について取り組んだ。 ● 〇〇の住民説明会での要望(意見)があり、対応を検討中。提案された〇〇について取り組んだ。 ※ 再評価(H〇〇年)以降の状況変化はない。 ※ 再評価(H〇〇年)以降、〇〇の要望が新たに生じ、〇〇を実施して対処する予定。(今回の計画変更)に反映)				
	(3) その他の課題	● 道の〇〇促進計画に抵触し、〇〇を実施中。 ● 〇〇の自然災害が発生し、一部被災を受けたため、事業進捗が〇年遅れる見込み ● 受益者の一部から当該事業計画の部分的変更について検討しているとの情報あり。 ● 前回評価(H〇〇年)以降の新たな課題発生はない。 ※ 再評価(H〇〇年)以降、〇〇施策が新たに策定され、〇〇を実施。 ● 事業期間は長期化している(事業費が大きく増加している)ものの、用地補償に伴う手続きや詳細設計なども終了しており、現状では阻害要因はなく、今後の事業の実施にあたっては順調に進捗する見込み。 ● 用地補償に伴う相続手続きに時間を要しているが、年内には手続き完了する予定。 ● 関連事業の計画変更に伴い事業計画の変更期間が発生。変更に影響のない箇所工事を実施中。 ● 前回評価と比較し資材単価や労務費が上昇しているため、今後の動向によっては事業費の増加が考えられる。 ※ 〇〇から〇〇区間の詳細設計は、今年度(〇〇年)実施する予定。				
	<b>b</b>	a : 現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b : 課題はあるものの達成は可能である c : 大きな課題があり達成には相当の困難が予想される				
	3.事業達成の見込み	〇〇〇〇と事業の必要性に変化はなく、〇〇については昨年度解決して事業推進上の課題は解消され、経済効果についても認められ、地元住民・自治体からの早期完成要望が強く、事業達成が十分に見込まれることから、平成25年度の完成を目指し、事業継続する。				
4.対処方針	<b>a</b>	a : 継続	b : 終了	c : 休止	d : 中止	
	事業期間の変更の有無		有	事業の変更の有無	有	事業内容変更の有無
	事業期間の変更の有無		有	事業の変更の有無	有	事業内容変更の有無
	事業期間の変更の有無		有	事業の変更の有無	有	事業内容変更の有無
	事業期間の変更の有無		有	事業の変更の有無	有	事業内容変更の有無
VI 備考	事前評価 : 年度実施 評価結果 : B/C : 再評価 : 平成26年度実施 評価結果 : 継続(変更なし) B/C : 1.85					
	1.評価履歴	「〇〇について変更があった場合には専門委員会に報告すること。」とする付帯意見を専門委員会からいただいた。知事評価においても同様の趣旨の意見を付された。				
	2.その他の取組み事項	● 現地発生した玉石をアーチ状に配置し流路を整成。(〇〇専門委員のアドバイス) ● 水路の草刈りやゴミ拾いを、住民協働で実施。(〇〇地区連合町内会の協力) ● 自然災害の恐ろしさや備えの大切さについて、小学生を対象に講習会を開催(〇〇市教育委員会と連携) ● 〇〇地区の景観形成を支援するため道路法面に〇〇を植栽(植栽は〇〇地区町内会の協働で実施) ● 事業費負担割合のその他には、〇〇事業による負担分(〇%〇〇百万円)が含まれる。				



【令和2年度（案）】

（2枚目に集約）

# 【令和元年度】

## 補足資料

II 計画変更 (単位：百万円)

事業期間	事業着手建設着手		変更年度完了予定		経過年度数	事業費		道負担額	当該年度事業費	累積事業費(b)	進捗率(b)/(a)
	H16	H17	H16	H23		総事業費(a)	300				
当初				H23			75				
変更①			H16	H23			80				
変更②			H17	H25			80				
変更③			H18	R1			100				
変更④			H27	R3	15	500	125	50	300	60%	

**変更理由・内容**

変更①：事業費の精査による事業費変更。  
 変更②：用地取得及び物件補償の難航による事業期間の延長。  
 変更③：H18年の集中豪雨により現河川堤防が決壊。流下能力増加のため、河道掘削を追加。  
 変更④：直轄灌漑排水事業計画の変更にともない、区画割を見直すとともに、新たな区画整理を追加。

# 【令和2年度（案）】

## 令和2年度（2020年度） 翌年度完了見込み地区一覧表

（様式4）

上段：当初計画又は直近評価

下段：当該年度〇月末現在

整理番号	所管部	事業種別	(ふりがな)地区名	市町村名	事業経過			前回評価年度	主な工種	総事業費(百万円)	事業費(百万円)				R3年度事業予定内容			備考
					事業採択	着手	完了予定				当該年度事業費	左記のうち道費	累計事業費	進捗率(%)	種別内訳	内容	事業費(百万円)	
1										-	-	-	-					
2										-	-	-	-					
3										-	-	-	-					
4										-	-	-	-					
5										-	-	-	-					

※「事業経過」及び「前回評価年度」の各欄は様式1と同様の方法により記入してください。

# 【令和元年度】

## 令和元年度 公共事業施工地区（翌年度完了予定の地区）一覧表

（細目様式2）

整理番号	所管部	事業種別	調書番号	(ふりがな) 地区名	市町村名	事業経過				主な工種	総事業費 (百万円)	事業費 (百万円)				R2年度事業予定内容			備考
						事業採択	着工年度	完了予定	経過年数			R1年度 事業費	左記のうち 道費	累計事業費	進捗率(%)	種別内訳	内容	事業費 (百万円)	
1																			
2																			
3																			
4																			

※「事業経過」欄における年度の記入は半角数字（各年度には、昭和はS、平成はH、令和はR）を記入してください。

# 【令和2年度（案）】

令和2年度（2020年度） 翌年度完了見込み地区一覧表 【記載例】

（様式4）

上段：当初計画又は直近評価

下段：当該年度〇月末現在

整理番号	所管部	事業種別	(ふりがな)地区名	市町村名	事業経過			前回評価年度	主な工種	総事業費(百万円)	事業費(百万円)				R3年度事業予定内容			備考	
					事業採択	着手	完了予定				当該年度事業費	左記のうち道費	累計事業費	進捗率(%)	種別内訳	内容	事業費(百万円)		
1	〇〇部	〇〇事業	〇〇地区	〇〇町	H22(2010)	H23(2011)	H30(2018)	H27(2015)	本工事費 〇〇工 L=〇m □□工 N=□箇所 △△工 N=△基	1,600	-	-	-	-	本工事費	〇〇工	197		
									測量設計費 〇〇設計、●●調査等						測量設計費	〇〇調査	2		
						H24(2012)	R3(2021)		本工事費 〇〇工 L=〇m □□工 N=□箇所 △△工 N=△基	2,000	300	180	1,800	90.0	用地費及び補償費	物件移転	1		
								測量設計費 〇〇設計、●●調査等											

※「事業経過」及び「前回評価年度」の各欄は様式1と同様の方法により記入してください。

# 【令和元年度】

## 令和元年度 公共事業施工地区（翌年度完了予定の地区）一覧表

記載例

（細目様式2）

整理番号	所管部	事業種別	調書番号	(ふりがな)地区名	市町村名	事業経過				主な工種	総事業費(百万円)	事業費(百万円)				R2年度事業予定内容			備考
						事業採択	着工年度	完了予定	経過年数			R1年度事業費	左記のうち道費	累計事業費	進捗率(%)	種別内訳	内容	事業費(百万円)	
1	A部			〇〇地区	××市	H25	H25	R2	5	〇〇工 □□工 ▲▲工 ●●工 測量試験費 用地補償費	2,000	300	150	1,800	90.0	本工事費	〇〇工 〇〇	160	
															測量設計費	◇◇	20		
															用地及び補償費	◆◆	20		
2																			
3																			
4																			

※「事業経過」欄における年度の記入は半角数字（各年度には、昭和はS、平成はH、令和はRを記載）を記入してください。









【令和元年度】  
事業費が概ね90%以上又は主要工事が完了している地区

記載例 令和 年 月 日時点 (細目様式3)

所管部 事業名 地区名 市町村名	事業目的・概要	事業費 (百万円)			事業期間 (下段当初)			計画変更 (直近2回)		事業実績及び進捗状況													備考								
		総事業費 上段 現在 下段 当初	うち道費 負担額	進捗率	事業 着手	建設 着手	完了 予定	変更① ・変更年度 ・変更概要等	変更② ・変更年度 ・変更概要等	工事内容等	H			R			進捗 状況	事業費 (百万 円)	残事業費 (百万 円)												
										16	17	18	19	~	30	1				2	3										
〇〇部  〇〇〇 〇〇 事業費  〇〇 地区  □□市	合併に伴う地域支援策として、○地区と□地区の交通不能区間を解消し、移動時間〇〇分の短縮を行い地域連携の強化や緊急医療・緊急避難に対処するものである。 〇〇線は〇〇と〇〇とを結ぶ延長〇〇kmの路線で、〇〇の役割(機能)を担う重要な路線である。この内本地区は、〇〇から△△に至る区間であり、急カーブ2箇所の改良、老朽化した〇〇橋の6mから8.5mへの拡幅を伴う架換えを行うものである。	500	125	92%			R3	・完了年度をH23に変更	・完了年度をR3に変更	〇〇工事L=〇m W=〇m 〇〇〇I〇箇所 〇〇I〇基 〇〇橋梁橋長〇〇〇m 付け替え道路L=〇m W=〇m 測量設計費 選線調査・地盤調査 用地及び補償費 用地費収・物件補償									90%	140	14										
			300	75		H16	H16	H20	・H18の豪雨により堤防が決壊、流下能力増加のため河道掘削を増加し事業費400百万円に変更	・直轄灌漑排水事業が変更され、区画割りを見直し、区画整理の追加し事業費500百万円に変更									90%	70	7										
																			80%	80	16										
																			100%	50	0										
																			100%	120	0										
																			100%	10	0										
																			90%	30	3										
															計	500	40														
															計																
															計																

※各年度の記入は暦年とし、半角数字(昭和はS、平成はH、令和はR)を記入してください。

# 【令和2年度（案）】

## 事業費10億円以上増減地区一覧表

（令和2年度公共事業再評価における実施方針に基づく報告）

（様式6）

上段：当初計画又は直近評価

下段：再評価（当該年度〇月末現在）

整理番号	所管部 事業種別 地区名	調書番号	事業概要	事業費（百万円）		事業経過			前回 評価 年度	変更理由及び増減額の内訳	変更事案の発生と対応経過	備考
				総事業費	増減額	うち道費 負担額	事業 採択	着手				
1						0						
					0	0						
2						0						
					0	0						
3						0						
					0	0						
4						0						
					0	0						
5						0						
					0	0						

※様式1と共通する項目は様式1と整合を図って記入してください。

# 【令和元年度】

事業費に10億円以上の増減が生じた地区（既再評価実施地区を除く）

（細目様式1）

（令和 年度公共事業再評価実施細目に基づく報告）

（令和 年 月 日時点）  
 上段：旧事業計画  
 下段：新事業計画

所管部 事業名 地区名	事業概要	事業費（百万円）			事業期間			再評価		変更理由及び増減額の内訳	変更事案の発生と対応経過	備考
		総事業費	増減額	うち道費 負担額	事業 着手	建設 着手	完了 予定	実施 年	実施 予定			

※各年度の記入は暦年とし、半角数字（昭和はS、平成はH、令和はR）を記入してください。

# 【令和2年度（案）】

## 事業費10億円以上増減地区一覧表 【記載例】

（様式6）

（令和2年度公共事業再評価における実施方針に基づく報告）

上段：当初計画又は直近評価  
下段：再評価（当該年度〇月末現在）

整理番号	所管部 事業種別 地区名	調書番号	事業概要	事業費（百万円）			事業経過			前回 評価 年度	変更理由及び増減額の内訳	変更事案の発生と対応経過	備考
				総事業費	増減額	うち道費 負担額	事業 採択	着手	完了 予定				
1	〇〇部 〇〇事業 〇〇地区	〇〇-〇〇	〇〇工 L=100m □□工 N=20箇所	2,800		700 (25%)	H17 (2005)	H17	H29	H27 (2015)	〇〇年（#####年）〇月に台風〇号が発生し〇〇施設が被災。災害復旧を行うとともに、〇〇施設を防護するため、新たに□□工5箇所（300百万円）、△△工 <sup>※1</sup> （700百万円）を追加する必要が生じた。	●R1年（2019年）9月 台風〇号による被災 現地調査・設計 ●R1年（2019年）10月 災害復旧申請 <sup>※2</sup> ●R1年（2019年）11月 □□工と△△工を追加	※1：〇〇に有効な代替案を3案検討し決定 ※2：〇〇災害法上の手続き
			〇〇工 L=100m □□工 N=25箇所 △△工 N=10箇所	4,100	1,300 (46%)	1,025 (25%)		H19	R7 (2025)				
2	〇〇部 〇〇事業 〇〇地区	〇〇-〇〇	□□□ A=100ha △△△ L=1,500m	2,700		1,350 (50%)	H22 (2010)	H22	H30	H20 (2008)	●〇〇〇による□□□の増（1,200百万円） ●詳細設計の結果、〇〇〇による△△△の×××の変更（250百万円増） ●〇〇〇による△△△の増（350百万円増）	●H〇〇年〇月 受益者・地元関係機関への説明 □□□の面積増加 ●H〇〇年〇～〇月 〇〇〇調査の実施 〇〇〇により工法を×××に変更 ●H〇〇年〇～〇月 施設管理者との協議 〇〇〇により△△△の整備延長を追加	
			□□□ A=150ha △△△ L=3,000m	4,500	1,800 (67%)	2,250 (50%)		H22	R5 (2023)				
						0							
						0							
						0							

【記載例】

●本様式の作成に当たっては以下の項目等の内容説明を記載。

- a 上下2段で当初計画又は直近評価時と再評価時の事業概要を比較。
- b 変更理由の説明を充実するとともに、事業費増減の内訳を明記。
- c 変更事案の発生と対応経過を時系列で整理。
- d 備考欄には、変更事案の補足説明を加える。

※様式1と共通する項目は様式1と整合を図って記入してください。

# 【令和元年度】

## 事業費に10億円以上の増減が生じた地区（既再評価実施地区を除く）

（令和元年度公共事業再評価実施細目に基づく報告）

記載例（細目様式1）

上段：旧事業計画  
下段：新事業計画

所管部 事業名 地区名	事業概要	事業費（百万円）			事業期間			再評価		変更理由及び増減額の内訳	変更事案の発生と対応経過	備考
		総事業費	増減額	うち道費 負担額	事業 着手	建設 着手	完了 予定	実施 年	実施 予定			
A部 〇〇事業 〇〇地区	〇〇工 L=100m □□工 20箇所	3,500		1,750 (50%)	H17	H17	H28	H27	R2	H30年9月に台風21号が発生し〇〇施設が被災。その災害復旧を行うとともに、〇〇施設を防護するため、新たに□□工5箇所（300百万円増）と、△△工 <sup>※2</sup> を追加（700百万円増）する必要が生じた。	H30年9月：台風21号による被災 H30年9月：現地調査設計 H30年10月：災害復旧申請 <sup>※1</sup> H30年11月：□□工と△△工を追加	※1：〇〇災害法上の手続き ※2：〇〇に有効な代替案A案・B案を検討
	〇〇工 L=100m □□工 25箇所 △△工 10箇所	4,500	1,000 (29%)	2,250 (50%)	H17	H17	H36					
B部 〇〇事業 〇〇地区	〇〇工 L=200m 捨土 V=10,000m <sup>3</sup>	3,500		1,750 (50%)	H17	H17	H28	H27	R2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H30年5月、施工中に想定と異なる地盤を確認。ボーリング調査の結果、想定した地盤より脆弱であることが判明。△△工を追加し〇〇の安定を図る。（400百万円増）</li> <li>・H30年5月、掘削土砂から第二種特定有害物質（重金属）を検出。土砂を産業廃棄物処理する必要が生じた。（300百万円増）</li> <li>・H30年6月、I区内にクマゲラ<sup>※4</sup>の営巣が発生。保護のため一部ルートを変更（300百万円増）</li> </ul>	H30年5月：ボーリング調査 H30年6月：対策工法検討 H30年7月：経済比較し△△工を選択 <sup>※1</sup> H30年5月：掘削土砂の成分分析 H30年6月：土壌溶出量が基準超過 <sup>※2</sup> H30年6月：産業廃棄物処理開始 H30年6月：生物影響調査 H30年7月：第三者環境委員会 <sup>※3</sup> を開催し、営巣に与える影響を評価 H30年8月：一部ルート変更が必要と判断。営巣位置を迂回し延長50m増	※1：代替案A案・B案を検討 ※2：ヒ素0.1mg/Lを検出（>0.01mg/L） ※3：生物・環境に関する学識経験者で構成 ※4：絶滅危惧種
	〇〇工 L=250m △△工 A=100m <sup>2</sup> 産業廃棄物処理V=10,000m <sup>3</sup>	4,500	1,000 (29%)	2,250 (50%)	H17	H17	H35					
<p>【記載例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「事業費に10億円以上の増減が生じた地区報告様式」に以下の項目等の内容説明を記載。                         <ol style="list-style-type: none"> <li>事業概要（上下2段で、旧事業計画と新事業計画を比較）。</li> <li>変更理由説明を充実するとともに、事業費増減の内訳を明記。</li> <li>変更事案の発生と対応経過を時系列整理。</li> <li>備考欄には、変更事案の補足説明を加える。</li> </ol> </li> </ul>												

※各年度の記入は暦年とし、半角数字（昭和はS、平成はH、令和はR）を記入してください。

# 【令和2年度（案）】

## 令和2年度（2020年度） 公共事業再評価総括表 （二次政策評価）

（別紙様式）

整理 番号	所管部	事業種別	調書番号	地区名	市町村名	事業概要等	事業 採択 年度	完了予定年度		総事業費 (当初)		総事業費 (変更)		評 価 結 果				摘 要
								当初	変更	(百万円)	うち 道負担額 (百万円)	(百万円)	うち 道負担額 (百万円)	一 次 政 策 評 価		二 次 政 策 評 価		
														対処 方針	摘要（変更内容等）	対処 方針	意見等	
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		

※各年度は、上段に和暦（昭和はS、平成はH、令和はR）、下段にカッコ書きの西暦を半角数字で記入してください。

# 【令和元年度】

令和元年度公共事業再評価総括表 (二次政策評価)

(別紙様式)

整理番号	所管部	事業種別	調書番号	地区名	市町村名	事業概要等	事業手続年	完了予定年度		総事業費(当初)		総事業費(変更)		R1年度事業費(百万円)	事業費累計(百万円)	進捗率(%)	B/C	評価結果				摘要	
								当初	変更	(百万円)	うち道負担額(百万円)	(百万円)	うち道負担額(百万円)					一次政策評価		二次政策評価			
																		方針	摘要(変更内容等)	方針	意見等		
1																							
2																							
3																							
4																							
5																							
6																							
7																							
8																							
9																							
10																							